

令和6年能登半島地震に係る被災自治体支援のため 奥出雲町職員を派遣

令和6年能登半島地震について、被災した自治体の復旧・復興を支援するため、奥出雲町から渡部洋一主任主事を、2月18日から24日にかけて石川県金沢市へ派遣しました。

渡部主任主事は、住家被害認定調査業務に携わり、罹災証明書を発行するために、申請のあった住家の屋根、外壁、基礎等のひび割れを確認する業務に従事しました。渡部主任主事は、「住民の方から「島根県からわざわざきてくれてありがとう。」という温かい言葉を掛けてもらえ、嬉しかったです。」と話されました。また、今回の派遣を通して、日頃の備えが大切であることを改めて実感し、今後の業務に活かされます。



非常持出品チェックリスト(一例)

- 食料品
非常食、飲料水、お菓子
- 衛生用品
ばんそうこう、包帯等、常備薬、常用薬、お薬手帳、ウェットティッシュ、生理用品、マスク、手指消毒液
- 衣類等
下着類、替えの衣類、洗面用具、タオル、手袋、雨具
- 生活用品
軍手、スリッパ、ナイフ、ヘルメット、懐中電灯(予備電池含む)、携帯ラジオ、ビニール袋
- その他
予備のメガネ、義歯、紙おむつ、粉ミルク、通帳や保険証のコピー等

三成幼稚園 第83回全国教育美術展で 全国学校賞を受賞

大正11年にスタートした日本で最も伝統のある子どもの絵のコンクール「第83回全国教育美術展」で三成幼稚園が、優れた作品を多数出品したことが評価され、全国学校賞・教育美術振興会名誉会長賞を受賞しました。

同園は、自然の中で体験した事を自由に描くことで、表現する喜びや楽しさを学ぶ保育に力を入れており、出品作品には、昆虫、稲、竹の子等の絵が描かれました。全国学校賞のほか、個人賞として、特選4名、入選5名が選ばれました。

また、保育士がそれぞれの園児らしい表現となるよう、園児の声に寄り添った造形活動への取り組みにより、指導者も高く評価されました。



石田園長(左から5番目)、古井保育士(右から5番目)と年長児の皆さん

【全国学校賞】応募校数2,301校

- ・内閣総理大臣賞
 - ・文部科学大臣賞
 - ・教育美術振興会名誉会長賞
 - ・日本放送協会会長賞
 - ・教育美術特賞
- 各賞3校
※幼稚園・小学校・中学校 各1校
※幼稚園、保育所、認定こども園含む

【個人賞】応募点数 約10万点

- ・特選 約2,200点
- ・入選 約8,500点

VIVANT X 島根県 ロケーションジャパン大賞で 準グランプリを受賞

地域を盛り上げた作品とそのロケ地を顕彰する第14回ロケーションジャパン大賞にTBSドラマ日曜劇場「VIVANT」とそのロケ地となった島根県が準グランプリを受賞しました。

「ロケーションジャパン大賞」は、2022年11月1日〜2023年10月31日までに放送・公開された映画・ドラマ作品の中から11作品65地域がノミネートされ、グランプリ、準グランプリ、部門賞、特別奨励賞の全7賞を選出するものです。審査は、2万人の一般投票による「支持率」、撮影隊へのサポートやロケ受け入れの体制等の「撮影サポート度」、地域の周遊を促す取り組みを表す「行楽度」、広告換算効果や観光客の増加率などの「地域の変化」といった4つの指標をもとに、観光庁をはじめ、有識者により決定されました。



2月15日に東京で開催された表彰式には、福澤監督や松尾副知事、糸原町長をはじめ、撮影に協力した関係者が出席し、喜びを分かち合いました。

小学生スーパーホッケー交流会

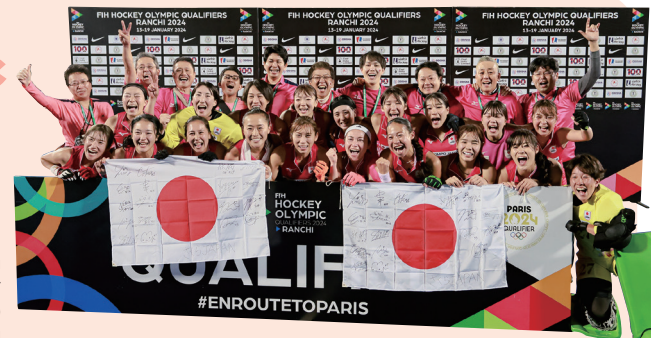


ホッケーを楽しむ児童の様子



膳棚選手と錦織選手から「夢」について話を聞く児童の様子

町内全小学校の6年生を対象としたスーパーホッケー交流会が2月6日、町民体育館で開催されました。スーパーホッケーは屋内において行う軽量のプラスチック製のスティックとボールを使った競技で、交流会はホッケー競技を通じた冬季間の体力づくりと、4月から中学校に進学する児童同士の交流を目的として町教育委員会が開催しています。今回は、2030年に開催予定の国民スポーツ大会「島根かみあり国スポ」に向けて、児童の意識啓発と競技力向上を図るための特別企画として、地元出身のオリンピックである膳棚大剛選手(セルリオ島根所属)と錦織えみ選手(「カ・コ・ラ」レッドスパークス所属)を招き、児童とホッケー交流をしました。試合後、両選手から「夢」をテーマに努力する大切さについて話を聞いた児童は、「辞めたいと思った事は?」「試合前にする事は?」等、両選手に様々な質問を投げかけました。膳棚選手は「ホッケーをしたことがない子も楽しんでくれた。ホッケー人口が減少しているので、このような機会にホッケーを楽しんで、盛り上げてほしい」と話され、錦織選手は「町の支えがあり、これまでやってこれたので、恩返しとしてホッケーの普及に貢献したいです。」と話されました。



女子日本代表さくらジャパン パリオリンピック出場権獲得!!

パリオリンピック女子ホッケー 出場12か国決定

プールA	プールB
オランダ…… 1位	オーストラリア… 2位
ベルギー…… 4位	アルゼンチン… 3位
ドイツ…… 5位	イングランド… 6位
日本…… 9位	スペイン…… 7位
中国…… 10位	アメリカ…… 12位
フランス…… 21位	南アフリカ… 18位

※参加国の右の数字は、2024年1月22日時点のFIIH世界ランキング

出身の山本由佳理さん(島根県ホッケー協会が参加しました。さくらジャパンは、2004年のアテネ大会でオリンピックに初出場し、今回で6大会連続の出場となります。パリオリンピックに出場するメンバーは6月に決定される予定です。

2024パリオリンピックホッケー競技の最終予選大会がインドで開催され、女子日本代表さくらジャパンは3位決定戦で開催国のインドに勝利し、パリオリンピックへの出場権を獲得しました。選手として三成地区出身の長谷川美優さん(天理大学所属)、サポートとして馬木地区出身の小早川志穂さん(コカ・コーラレッドスパークス所属、マネージャー)として八川地区出身の山本由佳理さん(島根県ホッケー協会が参加しました。さくらジャパンは、2004年のアテネ大会でオリンピックに初出場し、今回で6大会連続の出場となります。パリオリンピックに出場するメンバーは6月に決定される予定です。

親子で味噌づくり体験



労働者協同組合33(代表 和久利健さん)が主催する親子で味噌づくり体験が、2月3日に三成中央公民館で開催され、講師である堀江真由美先生の指導のもと、町内外の親子14組が味噌づくりをしました。

参加者は塩と麹を混ぜ、そこに、煮上げられた大豆を入れ、漬しながら全体を混ぜ合わせ、大豆の粒がなくなるまで漬するのは重労働ですが、親子で会話をしながら楽しく体験をする姿がありました。その後、しっかりと混ぜた味噌の空気を抜きながら容器に入れ、カビを防止するために縁に酒粕を敷き、約1年間熟成します。体験後、参加者は、堀江先生が作った味噌を使用した味噌汁を堪能し、「美味しい。優しい味がする。」と話している様子でした。